

今月のおすすめ

「日本炭鉱都市－写真と図でみる九州筑豊地方調査記－」

柳基憲著 ライフ 2013. 4. 12発行

先月号でご紹介したURCの新しい研究員柳基憲氏の著書です。これは日本語版ですが、1月ほど前に、韓国語版「일본 탄광도시－사잔과 지도로 보는 일본 지쿠호 자방 답사기－」も韓国の出版社から発行され、こちらもあわせていただきました。

内容は「筑豊地方の各都市・地域を対象とし都市計画学、歴史学、社会学、時間学、人間環境学の複合的な観点からアプローチし、外国人の目線から旧炭鉱町の「歴史・文化」を調査し筑豊地方を一つにまとめた手軽な案内書という位置づけを有する(本書「はじめに」から引用)」ものです。

「さらに歴史の観点からは、祖先が経験した過去のことを改めて探ってみることで、新しい世代による発展的な未来関係を構築することを目指しながら、国内外の一般訪問客だけではなく学生たちの体験学習を通じた教育効果を高めると共に、大学及び研究機関など関係先に必要な情報を提供することで、将来日韓両国、ひいてはアジア諸国との善隣友好に寄与することを願うものである。」(本書「はじめに」から引用)との思いでこの本を書かれました。是非、ご一読ください。



マスコミでみるURCの今－最近1ヶ月の情報を中心に－

◎新聞

2013.5.31 西日本新聞 朝刊 26p

「福博:都市シーニックバイウェイ研究会」などに年間優秀活動賞

榑木武元顧問が座長を務める「福博:都市シーニックバイウェイ研究会」の活動が国土交通省が行う2012年度年間優秀活動賞に選ばれる。

2013.5.21 読売新聞 朝刊 24p

詳報ふくおか 社会資本 計画的に延命 老朽化した道路や橋、公共施設・・・福岡市民間の資金・知恵 谷口博文主幹研究員が「PPP(パブリック・プライベート・パートナーシップ)実践講座」で講義を行う。

2013.5.14 読売新聞 朝刊 28p

詳報ふくおか「ビッグデータ」福岡市活用へ 多様な電子化情報＝福岡

本年1月に行った当研究所の会合が紹介され、天野宏欣主任研究員のコメントが掲載される。

◎雑誌

2013.5.31 フォーラム福岡 Vol.49 2013.May 52～54p

Innovation Talk 超一流の人材を10年引き止めると、ヒトが育って、まちが変わる/語り手 西高辻信宏・太宰府天満宮権宮司/聞き手 後藤太一情報戦略室長

2013.5.25 専門図書館 No.259 2013.5 72～73p

私の仕事、わたしの一日 第11回「私の30年-私の平日」を山崎三枝司書が執筆

所員雑感「～URC勤続25周年を迎えて～韓国・釜山の旅」3 一日目 山崎三枝

ホームステイを受け入れてくださったソさんと対面です。合うなり「お昼ご飯はまだでしょ？今日は主人がいるから、これから機張へ蟹を食べに行きましょう！機張は列車で行くには不便なところだから、車が使えぬ今日がいいんです。それから近くの竜宮寺に行って、帰りに海雲台のパラダイスでお茶をしましょう。」とその日の予定をとて流暢な日本語で話され、早速8つある行動計画のうちの2つが果たせました。

機張は釜山から近く、蟹で有名な海辺の町で、町はたくさんのお店や露天が続いていました。その中の1つの店に案内され、ソさんが選んでくれた蟹を調理してもらい、ビールとナムルで時間を潰しました。そのうちに蟹が茹で上がり、食べよく切られて出てきました。蟹はもちろん、最後に出てきた味噌汁と蟹味噌にまぶされたご飯は特に絶品でした。食後は蟹をほぐすのに汚れた手を歯磨き粉で洗うのです。そうすると、蟹の生臭さが消えます。

お腹いっぱいになって市場を見物しながら駐車場に向かいました。海東竜宮寺は海辺のお寺で、ここも多くの人で賑わっており、本堂では熱心に祈る女性の姿が見受けられました。この日は「旧暦のお正月から初めての満月」という特別な日で、波打ち際にたくさんのお供え物が捧げられ、沖へ流されていました。中央に見えるのは焚き火で、日本で言うドンド焼でしょうか？たくさんのお習字をした紙が燃やされていました。

海雲台のパラダイスは免税店で、パスポートを見せて入ります。2Fのコーヒーショップがソさんのお気に入りです。

お茶が終わるといよいよソさんのお宅です。ソさんのお宅は高層マンションの13階。釜山では平均的なお住まいだそうです。夕食を済ませシャワーを借りると、オンドルの気持ちよさからか、盛りだくさんの1日目の行事のせい、あっという間に眠ってしまいました。

以下次号へ

